

第八十一回  
帝國議會  
貴族院

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案特別委員會議事速記第一號

付託議案

○公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案

○義務教育費國庫負擔法中改正法律案

委員氏名

- |      |          |     |
|------|----------|-----|
| 委員長  | 伯爵山本     | 清君  |
| 副委員長 | 男爵伊江     | 朝助君 |
|      | 侯爵淺野     | 長武君 |
|      | 子爵清岡     | 長言君 |
|      | 子爵錦小路頼孝君 |     |
|      | 平塚       | 廣義君 |
|      | 下條       | 康鷹君 |
|      | 川村       | 竹治君 |
|      | 男爵明石     | 元長君 |
|      | 岡田       | 文次君 |
|      | 鈴木       | 幸作君 |
|      | 田中       | 穂積君 |

昭和十八年二月十二日(金曜日)午前十時  
十九分開會

○委員長(伯爵山本清君) ソレデハ只今カラ會議ヲ開キマス、此ノ特別委員會ニ付託セラレマシタ議案ハ義務教育費國庫負擔法中改正法律案ト公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案ノ二件デゴザイマス、先ツ政府當局ノ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 本委員會ニ付託サレマシタ公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、此ノ改正法律案ハ今回師範學校令ヲ改正致シマシテ、師範學校ヲ官立學校ト致シマシタ爲、同法中師範學校ニ關スル部分ヲ

削除スル必要ヲ生ジマシタノト、又中學校令、高等女學校令及實業學校令ヲ廢止致シマシテ、中等學校令ヲ制定スルコトト致シマシタ爲、同法中學校ノ名稱ヲ變更スルコトノ必要ヲ生ジマシタノデ、是等關係條項ヲ整備セムトスルモノデアリマス、次ニ義務教育費國庫負擔法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、國民學校職員ニ對スル諸給與ノ中、俸給費ニ付キマシテハ、曩ニ昭和十五年度ヨリ之ヲ市町村費カラ道府縣費ニ移管致シマスト共ニ、御協賛ヲ經マシテ本法ヲ改正致シマシテ、從來ノ國庫定額負擔ヲ改メマシテ半額ト云フ定率ノ負擔ト致シタノデアリマス、此ノ現行法ヲ今回更ニ改正セムト致シマスル點ハ、俸給ニ付テノ國庫ノ半額定率負擔ヲ年功加俸、特別加俸、賞與、死亡賜金及赴任旅費ニ迄及ボサムトスルモノデアリマス、年功加俸、特別加俸ハ從前ヨリ道府縣費支辨デハアリマスルガ、國庫ハ國民學校教育費國庫補助法ニ依リマシテ、毎年豫算ノ定ムル金額ノ補助ヲナシ來ツタモノデアリマス、近年御協賛ヲ得マシテ、此ノ國庫補助額ハ漸次増額ヲ見マシタル爲、國民學校職員ニ對シマスル加俸ノ支給狀況ハ相當改善サレテ參ツタノデアリマスガ、今回之ヲ負擔法中ニ加ヘマシテ、國庫ハ俸給ト同様、其ノ半額ヲ負擔スルト云フコトニ致シタイト考ヘル次第デアリマス、其ノ爲國民學校教育費國庫補助法ハ本法改正ニ依リマシテ不用トナリマスノデ、本法改正ノ附則ニ依テ之ヲ廢止セムトスルモノ

デアリマス、次ニ賞與及ビ死亡賜金ハ從前市町村費支辨、赴任旅費ハ昭和十五年度以來道府縣費支辨トナツテ居リマシタノヲ、今回別途勅令ヲ以テ是等ヲ一括シテ道府縣費支辨ニ移管致シマスト共ニ、從來是等ノ經費ハ其ノ全額ガ市町村又ハ道府縣ノ純負擔ニ屬シマシテ、全然國庫補助ハ致サナカッタノデアリマスガ、是亦今回負擔法中ニ加ヘマシテ、國庫ニ於テ其ノ半額ヲ負擔スルコトニ致シタイト考ヘル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(伯爵山本清君) チヨット御諮リ致シマスガ、政府ノ御説明ニ對スル質問ハ次回ニ譲リマシテ、本日ハ此ノ位ノ程度デ止メタイト思ヒマス、尙何カ參考資料ノ御希望ガゴザイマスレバ、此ノ際、散會後ニ御述ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ……別ニ御異議ハゴザイマセウカ……モウ、一ツ何カ短簡ナ御質問、御希望ノ點ガゴザイマスレバ、此ノ際ニ願ヒタイト思ヒマス

○岡田文次君 チヨット簡單ナコトヲ御伺ヒ致シマスガ、義務教育費國庫負擔法中改正法律案、此ノ改正ノ結果増額ニナル分ハ凡ソ費用ハ幾ラ程ニナツテ居リマスカ

○政府委員(續藤彌三君) 便宜私カラ御答ヘ申上ゲマス、負擔法ノ改正ニ依リマシテ、國庫帶來年度即チ十八年度ニ増額ニナリマスモノハ、大體俸給費ト致シマシテハ百二十萬圓餘、ソレカラ加俸ノ方ニ致シマシテ、四百三十二萬圓餘ニナツテ居リマス、尙償與ト致シマシテハ、千三百二十萬圓、合計千八百七十四萬九千圓餘ニナツテ居リマス、其ノ程度デアリマス

○岡田文次君 モウ一ツ伺ヒマスガ、昭和十八年度ノ義務教育費國庫負擔額ハ總額幾ラ程ガ豫算ニ出テ居リマスカ、豫算ヲ調べレバ分ル譯デスガ、念ノ爲メ此ノ際オ伺ヒテ致シテ置キマス

○政府委員(續藤彌三君) 俸給ダケト致シマシテ、十八年度ノ要永額ハ一億七百六十五萬圓ニナツテ居リマス

○岡田文次君 其ノ他ノ分ハドウナツテ居リマスカ、今度改正法ニ依ツタモノハ千八百餘萬圓デアリマスガ、是マデ俸給以外ノモノモアツタラウト思ヒマスガ、要スルニ義務教育費トシテ國庫負擔ニナルモノハ今ノ俸給ダケデナク外ニモアル譯デセウ、ソレ等全體トシテ幾ラニナリマスカ

○政府委員(續藤彌三君) 十八年度總計ハ一億三千三百八十四萬圓ニナツテ居リマシテ、俸給ノ方ハ先程申シマシタ一億七百萬圓餘、ソレカラ加俸ノ方ガ六百六十三萬圓、ソレカラ赴任旅費ノ方ガ二十三萬八千圓、死亡賜金十五萬圓、又賞與ノ國庫ノ分擔金ガ千八百三十萬圓、大體サウ云フコトニナツテ居リマス

○川村竹治君 資料ノ點デアリマスガ、衆議院ノ委員會ニ於テ御配付ニナツタ全部ノ資料ヲ當委員會ニ於テモ御配付ニナルヤウ政府ニ要求シタイト思ヒマス

○下條康慶君 此ノ改正法律案ノ基ク所ハ學制改革ノ一部ニ基礎ヲ置イテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、師範學校令改正、中等學校令制度等ニ關シテ大體ノ御趣旨ヲ承ツテ置ク方ガ審議ノ上進メルノニ宜イノヂヤナイカト思ヒマスガ、文部大臣カラ大略伺ヒタイト思ヒマス、尙其ノ中等學校令、師範學校令ニ關聯スル學制改革案ノ部分ニ付テモ若シ何カアリマスレバ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 師範學校ノ改正ノ主ナル點ハ從來二年デアリマシタ本科二年ヲ三年ニ致シマシテ、專門學校程度トシテ之ヲ官立ニスルト云フコトガ骨子ニナル譯デアリマス、併シ一面又豫科ヲ置キマシテ、專ラ國民學校ノ高等科修了者ヲ選抜採用スルト云フコトニ致シテ居リマス、其ノ豫科ノ年限ハ中等學校ガ改正サレマシテ、四年ニナリマス其ノ四年制度ガ充實サレマス迄ハ從來ノ如ク三年デアリマスケレドモ、ナツタ後ニハ二年ニ致シテ揃ヘル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノ外今般ノ改正デハ、全部ニ學費ヲ支給スル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、國民學校ノ教職員ハ國家ノ手ニ於テ養成スルト云フ建前ヲ探ツタノデアリマス、ソコデ從來ノ師範學校ニ男子師範學校ト女子師範學校ト別々ニアリマシタノヲ二ツ纏メマシテ、男子部、女子部ト云フコトニスルコトヲ本則ト致シマスガ、場合ニ依リマシテ、今迄男子部ダケノ師範學校デアリマシタモノハ、男子部ダケノ師範學校モ特例トシテ認メル豫定デゴザイマス、差當リハ全國ニアリマス師範學校ヲ其ノ儘國ニ移管致シマシテ、別ニ新シク建築等ノコトハ資材ノ關係等デ今出來マセヌノデ、其ノ儘利用シ

ヨウト思ツテ居リマス、ソレト根本ノ改正趣旨重ノ大ナ點ガ一ツアルナハ、全寄宿ト云フ寄宿寮制度ニシタト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、是モ資材ノ關係上、今年ハ豫算ニ計上スル譯ニ參リマセヌノデ、事情ノ許ス狀況ニナリマシタナラバ、早速全寮制度ヲ實施致シマシテ、學校、日常併セテ一本ニシテ教育ヲ行キタイト云フ考デヤツテ居リマス、ソレト本年度ノ卒業スルノガ三月ヲ以テ終了スルノデアリマスケレドモ、其ノ終了者ニモ本人ノ希望ニ依ツテ新制ノ師範學校生徒ニナリタイト云フ者ガ恐ラク大部分ダラウト思ヒマスガ、其ノ者ハ適當ナ方法ヲ講ジマシテ收容致シマス、併シナガラ色々教員ノ供給等ノ關係其ノ他カラ半箇年デ卒業サセルコトニ致シマシタ、其ノ次ノ年ノ師範學校生、マダ是モ新制ニナリ切ラナイ、半分今迄ノ教育ヲ受ケ、ソレカラ其ノ次ニ新制度ニナルノデゴザイマスガ、ソレモ矢張り九月ニ卒業致シマシテ半年早ク致シマシテ、次ノ年度遅レテ男子ノ卒業生ガ一時ナクナル時ノ準備ニ致シテ居リマス、ソレカラ女子ノ師範學校ハ當分ノ間二年ニ致シマシテ、無論二年ニ致シマスト云フノハ、從來ノ儘ニスルノデアリマセヌデ、三年ト云フ課程ヲ標準ニシナガラ適當ニ按配シテ二年ノ制度ニ致シマシテ、國民學校教員ノ補充ノ方ヘ一應暫時充タシマシテ、新制度ノ師範學校卒業生ガ出マシヤウニナリマス同時ニ女子ノ方ハ三年ニ致シマシテ行キタイト、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ中等學校ニ付キマシテ、從來制度ノ上カラ中等學校令、高等女學校令、實業學校令ト云フ三本建ニナツテ居リマシテ、中等學校ト云フモ

ノ、詰リ中堅國民ヲ養成スルト云フコトノ學校目的、教育目的ナドガ十分ハッキリシテ居ナカッタ點ガアリマスノヲ、今回三ツノモノヲ中等學校令ト云フ一ツノモノニ纏メマシテ、制度ノ上カラ相當簡素ニナリマシタ點モアリマスルノト、中等學校以上ニ於テモ皇國ノ道ニ則ル國民鍊成ト云フ事柄ガ教育ノ根本目的デアリマス、ソレニ付テ或者ニハ普通教育ヲ施シ、或者ニハ實業教育ヲ施スノデアアル、斯ウ云フ趣旨ニ於テ一本建ノモノニ致シマシタ、サウシテ内容ヲ出來ルダケ簡素ニ致シマシテ、從來ノ羅列的ナ教授方法ヲ改メテ、重點的ニ出來ルダケ綜合的ニ致スト云フコトニ依リマシテ、從來ノ五年程度ノモノトハ學力ノ劣ラナイモノニシナガラ、併シ一面ニ於テ年限ヲ短縮シヨウト云フコトヲ計畫シテ參ツタノデゴザイマス、一面ニ於キマシテハ實業學校ガ動モスルト云フト中學校ガ本筋デアツテ、實業學校ガ本筋デナイヤウニ考ヘラレテ居タヤウナ事柄モ、其ノ際ニ是正シヨウト云フ意圖モ含マレテ居ルノデアリマス、左様ニ致シマシテ、從來例ヘバ高等女學校ナドニ實科女學校、家政女學校ト云フヤウナ大體似寄リノモノガ色々名稱ガ附ケラレテ居リマシタノヲ、一切高等女學校ニ改メマシテ、併シ學校内容ハ又地方ノ實情ニ即シテ、ソレト適當ニ按配スル必要ガゴザイマスカラ、敢テ劃一的ニ致サナイデ相當彈力性ノアル編成ヲ致シマシテ、矢張り從來ノ家政女學校的ニヤル方ヲ適當トスル場合ニハ其ノ方向ニモ行キ、又實科的ニヤルタケレバ實科的ニモヤルト云フヤウナ裕リヲ採ツテ居ル積リデゴザイマス、唯併シ專ラ純然トシテ家政的ニヤリタイト云フナラバ

實業學校ニ向ケル、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ從來國民學校ノ高等科卒業程度ノ實業學校ト云フモノガゴザイマス、ソレハ三箇年デアリマス、ガソレハ其ノ儘ニ致シマシテ、地方ノ情況ニ即應シテ國民學校高等科卒業スル者ノ實業學校ト云フモノハ特例ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、併シソレハ實業學校トシテハ二年デハ到底充實出來マセヌノデ、其ノ特別ノモノニ付テダケハ從來ノ如ク三年ト云フ特例ヲ認メテ居リマス、ソレカラ中學校ト云フモノガ從來夜間制ヲ認メナイデ、夜間ノモノハ皆特殊學校トシテ取扱ハレテ居タノデアリマスケレドモ、今回必要ニ應ジテ中學校ノ夜間ノモノヲ認メルコトニ致シマシテ、從來ノ實業學校ハ其ノ儘認メマス、女學校ニ於テモ、ソレカラ中學校ニ於キマシテモ認メマスガ、併シソレハ實務ニ携ツテ居ル者ノ中デ、殊ニ向學心ノアル者ヲ收容スルト云フ意味デ國民學校ノ高等科終了者ダケヲ收容致スコトニ致シマシテ、國民學校ノ初等科ヲ終了シタ者ノ入ル夜間ノ中學校ト云フモノハ之ヲ設ケサセナイ、其ノ年限ハ中等學校三年ニ致シマシテ、實業學校ノ方ハ晝間ガ既ニ三年デゴザイマスカラ四年ノ課程、一年間ダケ年限ニ於テ延ビマスケレドモ、兎ニ角實務ニ從事シナガラ勉強シタイト云フ者ニハ、新シク中等學校令ト云フモノニ依ル制度ヲ認メルコトニ相成ル譯デアリマス、中等學校ノ問題ハ結局此ノ内容ノ刷新ト、教授法ノ改正ト云フヤウナ事柄ガ最モ重點ヲ置クベキマダ十分ニ其ノヤウナ點ハ目下現ハレテ居リマセヌケレドモ、今十分ニ準備ヲ致シマシテ相當ノ所迄行ケル見込デ居リマス、又

實業學校ニ向ケル、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ從來國民學校ノ高等科卒業程度ノ實業學校ト云フモノガゴザイマス、ソレハ三箇年デアリマス、ガソレハ其ノ儘ニ致シマシテ、地方ノ情況ニ即應シテ國民學校高等科卒業スル者ノ實業學校ト云フモノハ特例ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、併シソレハ實業學校トシテハ二年デハ到底充實出來マセヌノデ、其ノ特別ノモノニ付テダケハ從來ノ如ク三年ト云フ特例ヲ認メテ居リマス、ソレカラ中學校ト云フモノガ從來夜間制ヲ認メナイデ、夜間ノモノハ皆特殊學校トシテ取扱ハレテ居タノデアリマスケレドモ、今回必要ニ應ジテ中學校ノ夜間ノモノヲ認メルコトニ致シマシテ、從來ノ實業學校ハ其ノ儘認メマス、女學校ニ於テモ、ソレカラ中學校ニ於キマシテモ認メマスガ、併シソレハ實務ニ携ツテ居ル者ノ中デ、殊ニ向學心ノアル者ヲ收容スルト云フ意味デ國民學校ノ高等科終了者ダケヲ收容致スコトニ致シマシテ、國民學校ノ初等科ヲ終了シタ者ノ入ル夜間ノ中學校ト云フモノハ之ヲ設ケサセナイ、其ノ年限ハ中等學校三年ニ致シマシテ、實業學校ノ方ハ晝間ガ既ニ三年デゴザイマスカラ四年ノ課程、一年間ダケ年限ニ於テ延ビマスケレドモ、兎ニ角實務ニ從事シナガラ勉強シタイト云フ者ニハ、新シク中等學校令ト云フモノニ依ル制度ヲ認メルコトニ相成ル譯デアリマス、中等學校ノ問題ハ結局此ノ内容ノ刷新ト、教授法ノ改正ト云フヤウナ事柄ガ最モ重點ヲ置クベキマダ十分ニ其ノヤウナ點ハ目下現ハレテ居リマセヌケレドモ、今十分ニ準備ヲ致シマシテ相當ノ所迄行ケル見込デ居リマス、又

是等ノ中等學校ノ改正ハ十八年度入學スル者カラ致シマシテ、十八年度以前ニ入ッテ居リマス者ハ從來ノ中學校ナラバ中學校令ニ依リマシテ、無論新シイ教育法ヲ採用スル、勸業スルト云フコトハヤリマスケレドモ、年限ハ矢張り從來ノ如クスル積リデゴザイマス、大體其ノヤウナ趣旨デゴザイマス

○下條康鷹君 師範學校令ノ改正、中等學校令ノ制定等ニ勅令案ガオアリニナルグラウト思ヒマスガ、サウ云フモノヲ若シ見セテ戴ケマスレバ……尙其ノ外ニ例ヘバ師範學校年限延長ニ伴ッテ教授要目ナドモ變更ガアルト思ヒマスガ、中等學校ニ付テモ若シサウ云フモノガアリマスレバ、其ノ學校ノ年限延長、内容ノ充實等ニ關スル資料、サウ云フモノモ戴キタイト思ヒマス

○岡田文次君 極ク分リ切ッタコトヲ御尋ネスルノデ甚ダ濟ミマセヌガ、私不案内デスカラ御尋ネスルノデスガ、今日義務教育費デ市町村ノ負擔トナッテ居ルモノハ、設備其ノ他ノモノハ相變ラズサウダラウト思ヒマスガ、サウ云フモノニ對スル道府縣若シクハ國庫ノ補助ト云フヤウナコトハドウ云フ風ナコトニナッテ居リマスカ、念ノ爲ニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(續繩彌三君) 只今御話ノ所謂給與ノ問題ニ付キマシテハ今度ノ國庫負擔法ノ改正ニ依リマシテ、負擔金額ノ半額ヲ國庫ガ負擔スルコトニナッテ居リマスガ、只今御話ノモノニ付キマシテハ別ニ今補助ト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯低利資金ヲ融通スルトカ、サウ云フ資金ノコトニ付テ色々ノ便宜ヲ圖ルコトニ付テハ考ヘテ居リマスケレドモ、直接ノ補助ト

云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○委員長(伯爵山本清君) 別ニ御發言モナケレバ今日ハ此ノ程度デ終リタイト思ヒマス、次回ハ明日ノ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ之ニテ散會致シマス  
午前十時四十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵山本 清君  
副委員長 男爵伊江朝助君  
委員

侯爵淺野 長武君  
子爵錦小路頼孝君  
平塚 廣義君  
下條 康鷹君  
川村 竹治君  
男爵明石 元長君  
岡田 文次君  
田中 穗積君

國務大臣 橋田 邦彦君  
政府委員 文部大臣  
文部次官 菊池豐三郎君  
文部省總務局長 藤野 惠君  
文部省國民教育局長 繩彌 彌三君



昭和十八年二月十六日印刷

昭和十八年二月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局